

平成 21 年 8 月 3 日  
国土交通省海事局安全基準課

## IMO 第 55 回航行安全小委員会 (NAV55) の開催結果

7 月 27 日より 7 月 31 日までの間、ロンドンの国際海事機関 (IMO) 本部において第 55 回航行安全小委員会 (NAV 55) が開催され、我が国から、在英国日本国大使館、国土交通省、海上保安庁、水産庁、東京海洋大学、(独)海上技術安全研究所、その他海事関係機関・団体から構成される代表団が参加したところ、主な審議結果は、以下のとおり。(同小委員会には、我が国を含め 65 カ国、31 機関が参加)

### 1. 船舶の航路及び通報

ソマリア沖で海賊による襲撃が頻発していることを背景に、IMO 事務局長の提案によりアデン湾を航行する船舶が国際的に勧告される航路を航行することを促す総会決議案について合意し、本年 11 月に開催される第 26 回 IMO 総会に採択を求めることとした。

また、各国に、「アデン湾を航行する船舶が国際的に勧告される航路」の周知を図ることを要請した。なお、本航路に関する最新情報は、<http://www.mschoa.org> 又は当該地域に発せられる航行警報より得ることができる。

### 2. 統合化船橋システム (IBS) に関する指針の見直し

多岐にわたる航海機器等を用いる船橋業務の効率化・合理化等を図るため、従来の「統合化船橋システム (IBS) 性能基準」を機能別に整理するなどの見直し作業が、2005 年の NAV51 から進められてきた。

今次会合では、現行の「IBS 性能基準」に代わるものとして、コレスポンデンスグループ<sup>1</sup>で作成された「船橋警報管理の性能基準案」及び「船橋機器とシステムの配置計画と統合のための指針案」に合意し、第 87 回海上安全委員会 (MSC87: 来年 5 月に開催予定) に承認を求めることとした。

### 3. 船舶自動識別装置 (AIS) による誤送信データの防止手段

AIS による誤送信データを防止するための対策の検討が MSC83 (2007 年 10 月) で合意され、NAV 小委員会で検討が進められてきた。今次会合では、ノルウェーから、AIS を年次検査すること等が提案され、審議の結果、NAV 小委員会は、国が承認した検査官等による年次検査を義務化する SOLAS 第 V 章第 18 規則の改正案を作成し、MSC87 に承認を求めることを合意した。

### 4. e-Navigation 戦略の実施計画

MSC 81 (2006 年 5 月) において、英国、我が国等が、既存及び新たな電子航海支援設備を総合的に活用することによりヒューマンエラーに起因する海難の防止等を図ることを目的として、次世代先進航行支援システム構築戦略「e-Navigation 戦略」を策定すること

を提案した。その後の審議を経て、MSC85（2008年11月）において、「e-Navigationの構築と実施のための戦略」及び「e-Navigation戦略の実施プロセスのためのフレームワーク」が承認された。

今次会合においては、上記実施のためのフレームワークに従い、e-Navigation戦略の実施に向けた第1段階として、「ユーザーニーズの特定」を中心に議論を行い、ユーザーニーズの予備的検討結果をとりまとめたが、最終的な結論には至らなかった。

今後、コレスポネンスグループを設置し、来年開催されるNAV56までの間に、ユーザーニーズ、基本構成、ニーズと現状のギャップ分析等の検討を進めることを合意した。

#### <参考>

「e-Navigation戦略の実施のためのフレームワーク」では、2012年までに以下のスケジュールでIMOにおいて検討を進めることとされている。

- ・ 第1段階：ユーザーニーズの特定
- ・ 第2段階：基本構成、ギャップ分析
- ・ 第3段階：費用便益分析及びリスク分析
- ・ 第4段階：e-Navigation戦略の実施

### 5. AISバイナリメッセージの適用に関する指針の見直し

AISの効果的な運用を図るため、AISバイナリメッセージの適用に関する指針の見直しを行うことがMSC82（2006年12月）で合意され、NAVで検討が進められてきた。

今次会合では、NAV54で設置されたコレスポネンスグループの報告を基に、AISバイナリメッセージに関する新たな指針案を作成し、MSC87に承認を求めることに合意した。本見直しでは、日本が提案した「入航許可時間情報」「係留地情報」等の新たな項目の追加を含め、従来7種類であったAISバイナリメッセージを17種類に修正した。

なお、「AISバイナリメッセージ」の名称は、一層の明確化のため、「AISアプリケーション特定メッセージ」と変更することとなった。

#### <参考>

AISバイナリメッセージとは、AISを利用し、様々な情報を送信しグラフィカルな表示を可能とするもので、国際メッセージと地域メッセージの2種類がある。

国際メッセージについては、2004年に定められたSN/Circ.236において、7つのメッセージを試行的に4年間利用できることとされており、2008年のNAV54から、試行結果を基に見直しが進められている。

### 6. 水先人の安全移乗手段の改善

水先人の安全移乗手段の改善は、MSC 82（2006年12月）におけるブラジル、米国及び国際水先人協会（IMPA）による提案を受けて、NAVでの検討が開始された。前回会合で設置されたコレスポネンスグループにおいて、SOLAS条約第V章第23規則及び総会決議「水先人用移乗設備に対する勧告」の改正案の検討が進められてきた。

今次会合では、同グループの検討結果を基に、水先人用昇降機の使用の禁止、梯子のステップの間隔及び最大傾斜角の基準強化等を内容とするSOLAS条約第V章第23規則及

び総会決議の改正案に合意し、MSC87 に承認を求めることとした。

この改正案では、2012 年 7 月 1 日以降（日付は MSC にて確定）に設置する水先人用移乗設備は新しい要件に適合しなければならないことになるが、それ以前に設置された場合であっても、水先人の移乗に使用する船側ドアを内開きにする事、及び水先人用昇降装置の使用禁止については適用されることとなる。

以上

---

1 電子メールにて議論を行う通信部会